

赤こんりポート

松村美沙枝リポーター

ママと赤ちゃんの"en"日
はちマママルシェ開催

8月8日、はちはびひろばで「はちマママルシェ～ママと赤ちゃんの"en"日」が開催されました。このイベントは「まだ歩くことのできない赤ちゃんやその家族が楽しめるお祭りを」との思いで、リトミックや小児はり体験など赤ちゃん向けの催しが行われ、たくさんの赤ちゃん連れ家族が来場しました。特にハイハイレース、あんよレースでは、レースに参加する家族だけでなく、応援に来た友達家族・通りすがりの人など、その場にいる全ての人が一気団結して赤ちゃんに「頑張れ～！」とエールを送り、とてもにぎやかで温かい空間となっていました。

赤こんりポート

東恵子リポーター



障がい福祉職場の魅力を発信

「障がい者支援の仕事のやりがいや楽しさを知ってもらい、興味を持ってもらうきっかけになれば」との思いから、近江八幡市障がい児者地域自立支援協議会がDVDを作成しました。DVDでは3つの福祉事業所の職員が、その仕事の魅力と利用者との日常を話しています。市内4つの高校と県内の大学などに配布予定で、障がい者保護者の会、福祉事業所、障がい福祉課職員らで学校を訪問します。

7月20日は八幡高校進路指導部・大崎留美子先生に保護者らがDVDを手渡しました。八幡高校の部活動には社会福祉部があり、ボランティアに熱心な生徒も多いそう。身近に接することで、世界が広がると良いですね。

「魅力ある障がい福祉職場の発信・PR動画」の問い合わせは障がい福祉課(☎31-3711)まで。

赤こんりポート

馬場利男リポーター



水郷の西の湖をカヌーでヨシめぐり

近江八幡緑の少年団(団長・川橋袖子)の研修会が6月24日にB&G財団安土海洋センターで行われ、団員14人などが参加しました。ポレポレ25のカヌーチーム(代表・中出康男)から、ヨシめぐりの探索についての説明や、パドルの漕ぎかたについて指導を受けた団員は、1便と2便に分かれ、ヨシの群生に向かってカヌーを漕いで行きました。その後、団員は昼食のカレーを交代で作り、最後は全員で楽しい食事をいただきました。

緑の少年団も団員が少なくなっているようですが、体験活動は個人ではできないので、機会があれば多くの子どもたちに体験してほしいと思います。

赤こんりポート

渥美勉リポーター



夏休み自由研究科学ワークショップ

8月13日、仲屋町の古民家で夏休みの自由研究にピッタリな、科学実験のワークショップが開催されました。講師に環境科学系の修士号を持ち、環境分析の仕事をしている惣門大朗(そうもん)さんを招き、①コップが消える!? ②結晶を観察してみよう! ③ダンボール空気砲を打ってみよう! の3つの実験をしました。参加した小学4年の児童は「科学の実験が大好き。テレビで空気砲を見てやってみたかったけど、やり方が分からなかったのが実験できてよかった。自由研究は結晶の実験をしたい」と、小学6年の児童は「ダンボール砲がとても楽しかった。最初はあまり飛ばなかったけど、ダンボールを柔らかくすると飛んだ。自由研究の課題にもなるし、家でも煙を入れたりしてやってみたい」と感想を話してくれました。

7月22日



牧浄水場見学会で知る水道水のこと

家庭の蛇口から当たり前のように出てくる水が、どのようにしてつくられているのか知ってもらおうと、牧浄水場で5年ぶりに見学会が行われ、市内外から親子連れなど29人が参加しました。

参加者らは、琵琶湖の水が水道水になるまでの説明を受けた後、施設を見学したり、薬品で水中の砂や土、汚れなどが固まる様子を観察したりしました。小学6年の児童は、「小学4年生の時に校外学習で牧浄水場を見学するはずだったのに、コロナ禍でなくなってしまった。どのような施設か興味があったので、今日は参加できてうれしい」と話していました。

8月13日



よしきりの池で「生き物しらべ」

よしきりの池あずまやで、「生き物しらべ」が小中之湖地域環境保全会主催で開催され、約50人が参加しました。

よしきりの池は環境保全を目的として作られた人工池で、ヨシや水草などが茂り、多くの魚や生き物が住んでいます。このイベントは、その生き物を実際に池に入って捕まえたり、生き物の種類を先生に解説してもらったりして、子どもたちに自然と触れあってもらおうと毎年開催されており、今年で17回目になります。子どもたちは「オタマジャクシをつかまえた」「エビがたくさん入った」と、生き物がたくさん入ったバケツや水槽を見ながら喜んでいました。

8月6日

滋賀レイクスと
人権を学ぼう!

「じんけんオープンスクール」が市民アリーナで開催され、八幡中学校バスケットボール部員35人が人権について楽しく学びました。

このオープンスクールは、より多くの人に人権の大切さを考えてもらおうと、滋賀県人権啓発活動ネットワーク協議会が、プロバスケットボールチームとして活躍している滋賀レイクスと協力して行っています。この日は山崎凜選手と宮本一樹選手が講師を務め、バスケットボール教室や人権トークを行ったほか、人権擁護委員による人権教室が行われました。男子バスケットボール部の主将・堀尾遙希さんは、「チームをまとめていくためにも、失敗を悪く言うのではなく、いいところを尊重する雰囲気を作っていきたい」と真剣に話していました。

7月28日



リサイクル×アップサイクル

持続可能な社会について考えるSDGs出前講座特別編「みんなでSDGs! in 近江八幡」が環境エネルギーセンターで開催され、施設見学とワークショップを体験しようと、市内外から親子ら24人が参加しました。

子どもたちはセンター長の解説を熱心に聞き、時折メモを取りながら施設内を見学しました。その後、ユニクロ近江八幡店のスタッフから、ジーンズのすそ上げの際に出るハギレを再利用したアップサイクルのワークショップが行われ、オリジナルのティッシュボックスケースを作製しました。参加者は「工場見学やアップサイクルの体験ができて良かった」「日ごろから、ごみの分別、物の使い方を意識できる良い機会になった」と感想を話していました。